

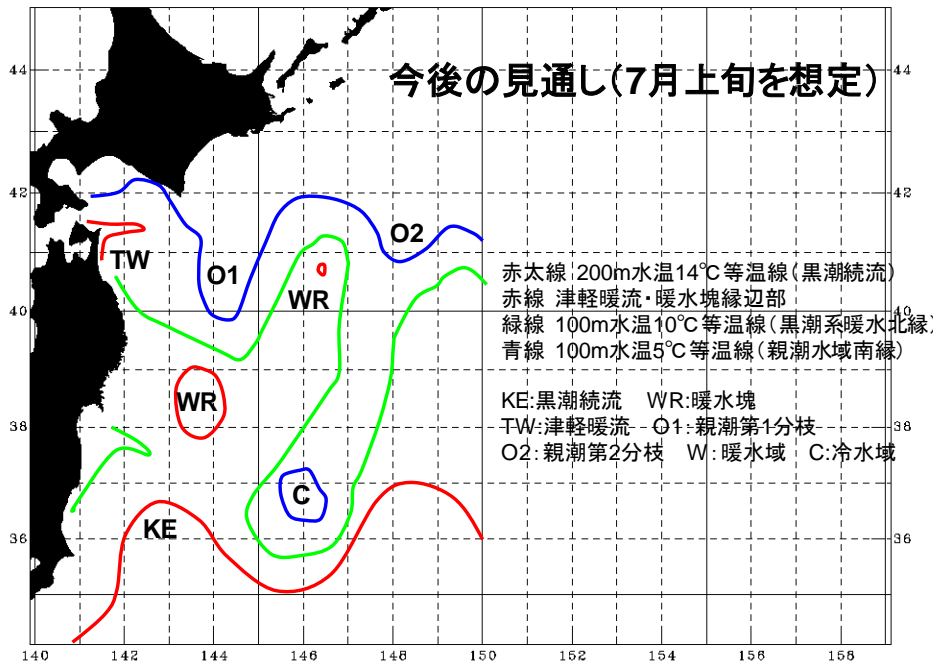


平成27年度 第2回 東北海区海況予報

— 別表の水産関係機関が検討し国立研究開発法人水産総合研究センター
北海道区水産研究所、東北区水産研究所がとりまとめた結果 —

今後の見通し(平成27年7月~8月)のポイント

- ・ 近海の黒潮続流の北限位置は平年並み~やや北偏で推移する。
- ・ 親潮第1分枝の張り出しは平年並みで推移する。
- ・ 常磐沖の暖水塊は金華山沖の暖水塊に取り込まれ、常磐沖に冷水域が形成される。



問い合わせ先

国立研究開発法人水産総合研究センター北海道区水産研究所 業務推進部

担当：塚本、大迫

電話：011-822-2131、ファックス：011-822-3342

国立研究開発法人水産総合研究センター東北区水産研究所 業務推進部

電話：022-365-1191、ファックス：022-367-1250

当資料のホームページ掲載先URL

<http://abchan.job.affrc.go.jp/>

<http://tnfri.fra.affrc.go.jp/>

平成27年度東北海区海況予報 第2号

《今後の見通し (2015年7月～8月)》 (注) FRA-ROMSシステムによる結果

近海の黒潮続流の北限位置は平年並み～やや北偏で推移し、親潮第1分枝の張り出しは平年並みで推移する。釧路沖の暖水塊は停滞し、常磐沖の暖水塊は金華山沖の暖水塊に取り込まれ停滞する。また、冷水域が常磐の沖合に形成される。

《海況の経過 (2015年4月～5月) の特徴》 (注) FRA-ROMSシステムによる結果

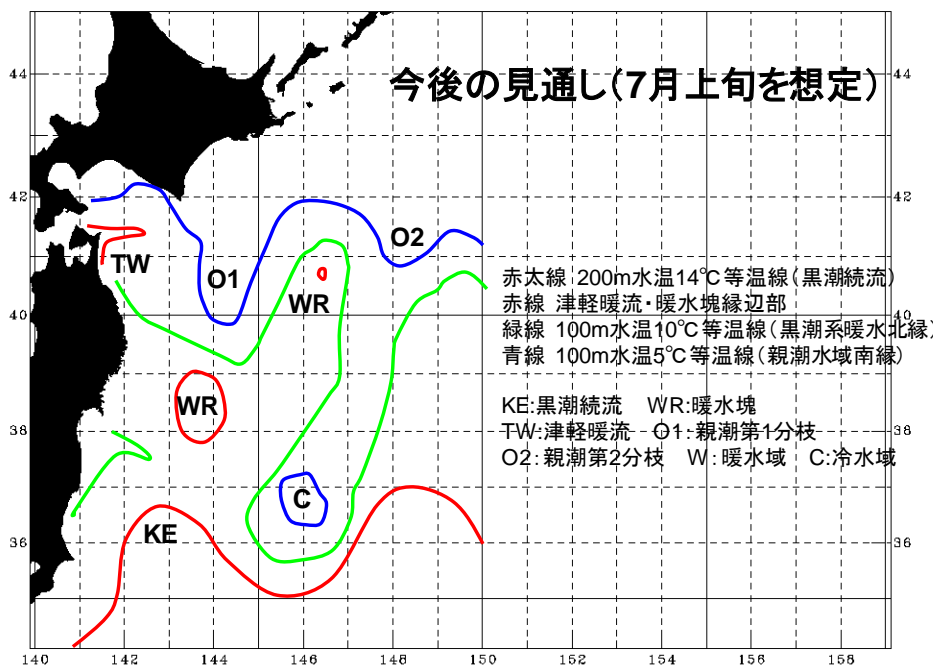
近海の黒潮続流の北限位置は平年並みで推移した。親潮第1分枝の張り出しは平年並みで推移した。釧路沖と常磐沖に暖水塊が形成され、金華山沖の暖水塊は西進した。

《現況 (2015年6月上旬) の特徴》 (注) FRA-ROMSシステムによる結果

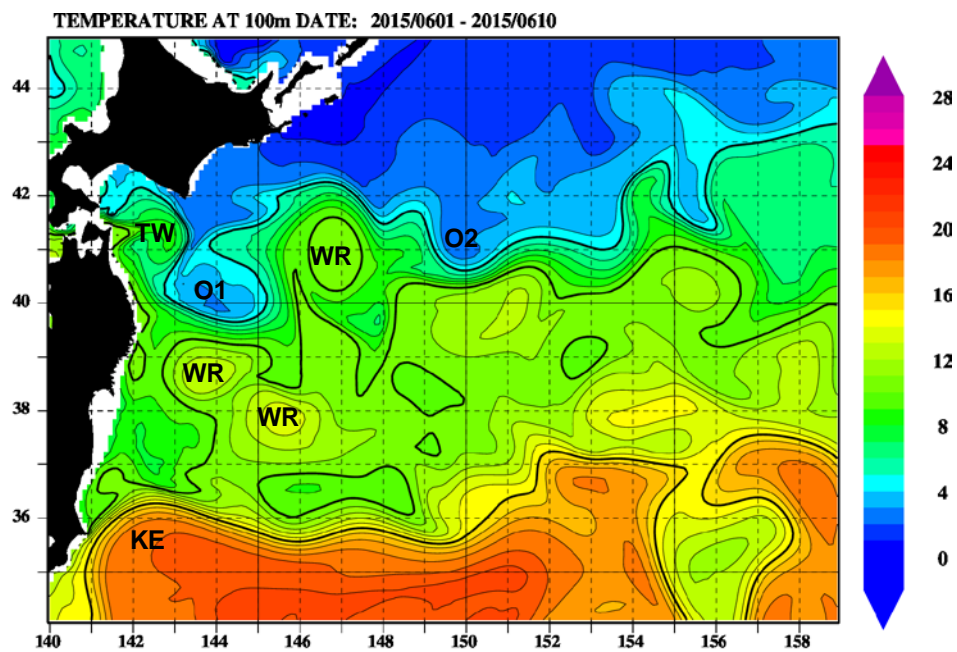
近海の黒潮続流の北限位置は平年並み、親潮第1分枝の張り出しは平年並みである。また、釧路沖と金華山沖と常磐沖に暖水塊がある。

(注) この海況予報は、国立研究開発法人水産総合研究センターにより開発され、2012年5月より運用を開始したFRA-ROMSシステムを用いている。

7月上旬予測水温分布図



6月上旬現況水温分布図（100m深）



図中の記号はそれぞれO1が親潮第1分枝、O2が親潮第2分枝、KEが黒潮続流、TWが津軽暖流、WRが暖水塊を表している。

参 画 機 関

<p>地方独立行政法人 青森県産業技術センター 水産総合研究所</p> <p>岩手県水産技術センター</p> <p>宮城県水産技術総合センター</p> <p>福島県水産試験場</p> <p>茨城県水産試験場</p>	<p>国立研究開発法人 水産総合研究センター 東北区水産研究所</p> <p>(取りまとめ機関)</p> <p>国立研究開発法人 水産総合研究センター 北海道区水産研究所</p>
---	---